

教科における「活用力」の捉え方

「活用力」 = 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な
思考力、判断力、表現力 等
 上記の「課題」について：本来は、将来の「生きる力」につながるもの。
 つまり、「日常生活における『課題』であり、また、「今後様々な場面で
 出会うであろう『課題』等、広い意味での『課題』かと思われる。
 しかし、授業実践を進めるにあたっては、
 「学習活動における『課題』と捉えて取り組む。
 その積み重ねが「生きる力」につながると考える。

「習得したことを活用して課題を解決するために必要な力」
 ……教科に応じた内容で記述する。

……力 の形で記述する。

どのような活動を通して、「活用力」を育むのか、
 その活動を記述する。

| 教科 | 教科における「活用力」 | 教科における「活用力」 <分野ごとに> | 「活用力」を育むための活動・ |
|----|---|--|---|
| 国語 | 身につけた言語の知識・技能を活用して、言葉を媒体とする表現を理解し【思考力、判断力】、自分の考えを持って【思考力】、状況に応じて豊かに表現【表現力】できる力 | 言語活動において、「思考力」「判断力」「表現力」は相互に深い関連性をもって存在する。 ○文章を読んだり人の話を聞いて、その内容を正確に把握する力 【判断力】 文章や人の話から他の考えを知り、さらに深く考える力 【思考力】 ○(課題に対して)自分なりの考えを持ち場や相手、目的に応じて適切に書いたり話したりする力【判断力、表現力】 | ○「読む」活動では、詩歌や物語などを読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。 説明や論説などの文章を読み、内容や表現のしかたについて自分の考えを述べる。 ○「話す」「聞く」活動では、時間や場の条件に合わせて発表したり、それを聞いて自分の表現に活かす。 ○「書く」活動では、表現のしかたを工夫して、詩歌を作ったり、文章を書いたりする。多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く。 |
| 社会 | 基本的な知識・技能を活用し、様々な資料に基づいて多角的・多面的に考える【思考力】ことができ、民主的、平和的な社会の形成者としての考えに基づいて判断することができ【判断力】、また、その考えを適切に表現できる【表現力】力。 | 思考力・判断力・表現力はどの分野でも密接に関連しあっているが、特に分野ごとに重点を置く活用力は次の通りである。 ○地理的分野；資料にまとめる力やわかりやすく発表する力 【表現力】 ○歴史的分野；課題を考える力【思考力】、幅広いものの見方や立場をかえたものの見かた(多角的・多面的な見方) 【思考力】 ○公民的分野；現在の社会的事象について、自分はどう感じるのか、将来どうすべきかなどについて考える力や判断する力 【思考力・判断力】 | ○地理的分野では、調査の規模によって適切な資料を選び、そこからわかることをグラフや表・地図にまとめ、わかりやすく発表する。 ○歴史的分野では、様々な資料を比べることや、ひとつの資料から予想することで課題をつくる。また、ひとつのものごと(事例)を、立場を変えて考え説明する。 ○公民的分野では、身近なところから政治や経済について考え、レポートの作成など自分の考えを表現する。 |
| 数学 | 基本的な知識・技能をもとに、課題を解決するために既習事項を活かし【思考力・判断力】、解決の見通しを持ち【思考力】、解決の過程を表現する力【表現力】 | ○数式分野=すじ道を立てて考える力【思考力】 ○数量関係分野=規則性を発見する力【思考力・判断力】 変化の様子を式やグラフに表す力【表現力】 ○図形分野=図形の性質を予想する力【思考力・判断力】 すじ道を立てて説明する力【判断力・表現力】 | すべての分野において、根拠を意識しながら課題に取り組む。 ○数式分野では、手順に従って能率よく数式の処理をすることを繰り返す。 ○数量関係分野では、日常生活の中のものとなって変わる2つの数量の関係を調べることを通して、関数関係を見つけ、その変化の様子を式やグラフに表す。また逆に、式やグラフからどのような関数であるかを説明する。 ○図形分野では、基本的な用語や知識を確実に理解できるようにし、それをもとに図形の性質を予想し、すじ道を立てて口頭で、またはノートに書いて説明する。 |
| 理科 | 自然や日常生活の事物・現象について理解を深め、その中に問題を見だし、規則性を発見したり課題を解決したりする力。目的意識を持って観察、実験を行い【判断力・思考力】、結果を表やグラフ、スケッチなどでまとめ【表現力】、その結果から規則性を見だし【判断力】課題解決のための方法を考える力【思考力】。 | ○1分野(物理・化学) 課題を解決するための実験方法を考える力 【思考力】 実験の結果を表やグラフに表す力 【表現力】 実験から規則性や法則を見いだす力 【判断力】 ○2分野(生物・地学) 資料や実験から違いを判断する力 【判断力】 観察・実験の結果を発表し、意見交換する力 【表現力】 自然のメカニズムを考える力 【思考力】 | ○1分野 実験結果を予想してから活動する。実験方法を見つけ、必要な器具を選択する。実験結果をグラフや表に表し、他の実験結果と比較して規則性を説明する。実験の結果をまとめ、法則について説明する。 ○2分野 観察の結果や資料から違いを判断し、説明する。 観察・実験のあとに、結果を発表し合い、規則性を考え、意見交換する。 観察・実験の結果や写真や映像をもとに環境について知り、問題点をまとめ、発表する。 |

| 教科 | 教科における「活用力」 | 教科における「活用力」 <分野ごとに> | 「活用力」を育むための活動・ |
|------|---|---|---|
| 英語 | 習得した語彙、文章表現をもとに、場面に応じて【判断力】、自分の思いや考え【思考力】を口頭や文章で表現できる。【表現力】 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「読む」「聞く」：ある程度まとまりのある英文を読みとり、それについて要旨をまとめる力。英文の要点を聞き取る力。【思考力・判断力】 ○ 「書く」「話す」：既習の表現をもとに、できるだけ息の長い文を書く力。【表現力】 会話表現やスピーチの仕方などを学び、それをもとに自分自身の思いや考えなどを発表する力。【思考力・表現力】 | <ul style="list-style-type: none"> ○まとまりのある文章を読み、その内容を要約する。 ○自分が体験したことを口頭や文章で表現する。 ○インタビュー活動で得た情報を自分の感想を含めて報告する。 ○相手の考えに対する自分の意見を口頭や文章で伝える。 ○自分の思いや考えを聞き手にわかりやすく伝える。 |
| 美術 | 感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。【思考力・判断力】 美術における知識・技能を活用し、自分の表現方法を創意工夫しながら、課題（表現と鑑賞）を解決し表現する。【表現力】 | <ul style="list-style-type: none"> 【表現活動】基礎的な技能や知識を活用し、自分の体験してきたこと、感じ取ったことなど、自分の思いや考えを平面や立体などで表現（表現力）する力。 また、表現活動において、課題に対して試行錯誤しながらアイデアを練り上げ、（思考力）表現に合った技法を選択し（判断力）、効果的な仕上がりを工夫する力。 【鑑賞活動】作家の生涯と作品の表現（色彩、テーマ、技法など）を関連づけ（判断力）ながら、それらの情報を自分の視点や感じ方によって分析・評価（思考力）し、自分の言葉で論述（表現力）する力。 また、お互いの考え方や感じ方を伝え合い、様々な視点があることを知り、自分の考えを深める（思考力）ことができる力。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「絵画・彫刻」の活動では、主題を発想し、スケッチなどを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、構成の仕方、材料の組み合わせなどを工夫し、心豊かな表現の構想を練り、制作する。 ○「デザイン・工芸」の活動では、参考作品や提示された資料を通してデザインや工芸の独特な表現方法に関心を持ち、それを表現に生かして制作する。 ○鑑賞活動では、作家の心情や表現意図を作品や様々な情報から推測したり、自他の作品を鑑賞し、いろいろな見方や感じ方や発想の仕方を学び取り、発表や文章で伝え合う。 |
| 音楽 | 音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽科活動の中で創意工夫し生かすこと。【思考力・判断力】 音楽活動における基礎的な知識・技能の定着を図り、創造的に表現しようとする力。【表現力】 | <ul style="list-style-type: none"> 【表現活動】音楽の基礎的な知識・技能をもとに、自分の体験してきたこと、感受したことを活かし、表現を工夫しようとする力。（思考力・判断力・表現力） 【鑑賞活動】多様な音楽を聴き、楽曲の雰囲気や曲想と諸要素の働きによる効果、地域性や民族性、文化・歴史など、あらゆる視点から感受したことをまとめる力（思考力・判断力）。自分なりの言葉で表現する力（表現力）。また、お互いの考えを意見交換し、自分の考えを深めようとする力。（思考力） | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な練習により身に付けた発声や奏法・読譜力など、表現に必要な諸技能を活用し、作曲家の意図をくみ取り自分なりの表現をする ○ワークシートを積極的に活用し、楽曲の雰囲気や曲想等音楽の構成要素に着目し、感受したことをまとめ、自分なりの言葉で表現する。 ○グループ発表を積極的に行い、他のグループの発表を鑑賞し、様々な感じ方や表現の仕方を学び、発表やワークシートにまとめる。 |
| 保健体育 | これまでの学習や生活経験で身に付けた技能や知識を活用し、自己の能力や適性・体力などの実態に応じて運動を選択し【思考力・判断力】、積極的に運動に親しむ資質や能力【表現力】や、健康や保持増進のための実践力【表現力】 | <ul style="list-style-type: none"> ○体育分野 ・運動に関する技能や知識を生かして、個人やチームの課題を適切に把握し（思考力）、その達成のために適当な練習方法を選択し（思考力・判断力）、記録の向上や技能を習得する力（表現力）。 ○保健分野 ・心身の状態や周囲の状況を適切に判断し（思考力・判断力）、健康で安全な生活を実践していこうとする力（表現力） | <ul style="list-style-type: none"> ○調べ学習を通して技能ポイントやルールなどの理解を深め、実際の授業において、グループ学習やペア学習を用いて互いにアドバイスし合う。 ○調べ学習やアドバイスから得た技能ポイントを意識して運動の課題に取り組む。 ○自己やチームの課題の解決を目指して、練習やゲームの仕方を考えたり工夫したりする。 ○学習内容を実生活と関連付け、自らの健康の管理や生活行動及び環境の改善を適切について話し合う。 |
| 技術家庭 | ・現代社会や家庭生活の課題に気づき、よりよい生活を創造するための行動のあり方について自分なりの考えを持つこと【思考力・判断力】 ・これまでに身につけた知識・技能を生かし解決への見通しを持ち、工夫しながら実践できること【表現力】 | <ul style="list-style-type: none"> <技術分野> ・環境問題や情報活用の課題を理解し、これからの技術利用のあり方について自分の生活と結びつけて考える力（思考力・判断力） ・加工作業や実習で身につけた知識、技能を活かし、新たな学習や実生活での課題を、自分なりに工夫しながら解決する力（表現力） <家庭分野> ・実験・実習や作業活動で身につけた基礎的な知識・技能を活かし、実生活で工夫、応用していく力（表現力） ・自分の成長を振り返り、家族の役割、家族関係をよりよくしようと考え、行動する力（思考力、判断力） | <ul style="list-style-type: none"> <技術分野> ○ものづくりや情報活用の授業で、作業の経過や結果について自己評価や相互評価する。 ○環境問題やものづくりや情報活用について、実生活の課題を解決するために言葉や図表などを用いて考えたり説明したりする。 <家庭分野> ○衣食住に関する実験・実習の結果を整理し考察する。 ○「家族と家庭生活」の授業では、実習や観察、ロールプレイングの活動で感じ取ったことを考察・評価し、発表し合う。 ○身につけた知識・技能を生かし、家庭生活で実践し、評価する活動を繰り返す。 |
| 特別支援 | ・これまでの学習や経験を実際の生活に活かすために必要な思考力・判断力・表現力 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちや考えを言葉にして表現することができる。【表現力】 ・周りの状況を見て、聞く場面・話す場面の判断ができる。【判断力】 ・行動するときには相手のことを考えることができる。【思考力】 | <ul style="list-style-type: none"> ○授業のまとめとして授業の最後に感想を発表する。 ○今誰が話をしているのかを判断し、聞くときの姿勢作りに注意する。 ○行動するときには、まわりの様子を確認するようにする。 |